

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年4月4日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	10週	11週	12週	13週	警報レベル		注意レベル
	3月4日 ~ 3月10日	3月11日 ~ 3月17日	3月18日 ~ 3月24日	3月25日 ~ 3月31日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	7	26	34	20	30	10	10
	2.33	8.67	11.33	6.67			
新型コロナウイルス感染症#	35	24	20	20	-	-	-
	11.67	8.00	6.67	6.67			
RSウイルス感染症	0	1	1	0	-	-	-
咽頭結膜熱	0	0	1	4	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	7	4	6	8	4	-
感染性胃腸炎	9	6	5	1	20	12	-
水痘	1	0	0	0	2	1	1
手足口病	0	0	0	0	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	0	0	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	-	○	-
備考		新型コロナウイルス感染症	

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所より

【 定点把握対象疾患 】

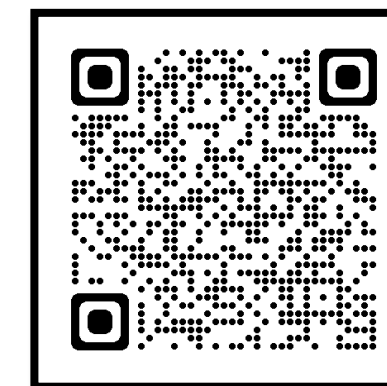
- ・ インフルエンザは前週より減少しました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症は前週と同数の発生数です。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌)は前週より増加しました。
- ・ 感染性胃腸炎は前週より減少しました。

【 集団発生情報 】

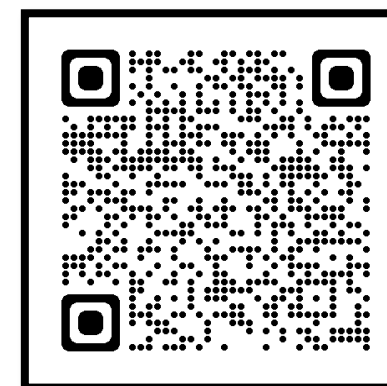
高齢者施設における新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。感染対策を徹底しましょう。

【 感染症コラム～アメーバ赤痢～ 】

- ・ 赤痢アメーバによる消化管の感染症で、世界で毎年10万人程度が死亡しています。
- ・ 感染経路は経口・糞口感染で、感染者の便中の赤痢アメーバによって汚染された水、野菜、果物、肉類を生食や、男性同性愛者間での性的接触(多数かつ増加傾向)があります。渡航者によくみられる感染症ですが、国内の福祉施設での集団発生もみられます。
- ・ 潜伏期は数日から数年と不定で、感染者の1～2割に下痢、粘血便、しぶり腹、排便時の下腹部痛等の症状が現れます。イチゴゼリー状の粘血便が典型的で、数日～数週間の間隔で症状が軽快/増悪を繰り返します。
- ・ アメーバが腸以外の臓器に侵入すると発熱、右脇腹の痛み、肝臓の腫れ、嘔吐、体重減少、だるさ等が起き、治療が必要です。
- ・ 全数報告疾病のため、患者を診断した医師は、7日以内に最寄りの保健所に届け出る必要があります。



感染症情報 ←



← 感染症検査

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 ☎0228-22-7595
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>